

## 平成26年8月の船舶事故・人身事故発生状況（速報）

### 1 船舶事故

(1) 船舶事故は30件33隻（前年19件27隻）で、前年に比べて6隻増加し、死者・行方不明者は0人（前年0人）でした。

(2) 今年8月までの船舶事故数の累計は138件166隻（前年155件189隻）で前年に比べ23隻減少しています。

死者・行方不明者の累計は11人（前年6人）で、前年と比べ5人増加しています。

(3) 船種別では、33隻中24隻がプレジャーボートによる船舶事故で、全体の約7割を占めています。

海難種類別では、機関故障が7隻と最も多く、次いで衝突、運航障害が5隻となっています。

※運航障害とは、バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失及び無人漂流をいう。

### 2 マリンレジャーに伴う人身事故

(1) マリンレジャーに伴う人身事故者数は41人（前年29人）で、死者は5人（前年2人）でした。

死者の内訳は、遊泳中3人、釣り中1人、サーフィン中1人となっています。

(2) 今年8月までのマリンレジャーに伴う人身事故者の累計は96人（前年104人）で前年に比べ8人減少しています。

死者・行方不明者の累計は18人（前年15人）で、前年と比べ3人増加しています。

(3) 事故者の主な内訳は、遊泳中15人（前年10人）、ボードセーリング中8人（前年なし）、サーフィン中が4人（前年1人）となっています。

水上オートバイが関係する全ての事故者は14人（前年7人）で、うち11人が水上オートバイに曳航されたバナナボートなどの被引浮体遊具から転落した際、負傷したものや、水上オートバイが曳航するロープに遊泳者が接触したため負傷したものです。